

企画展関連イベント

木下琢朗 × 石川勝敏 × 吉見亮

(空間演出)

(プロジェクションマッピング)

(パーカッション)

MI・KA・TA ART PROJECT

さんせんそうもく

山川草木

あるがままにそのままに

2022

12/10(土) 17:30~18:30

要事前申込
参加無料

(荒天の場合は12/11(日)へ順延)

東静岡アート&スポーツ/ヒロバ 静岡市葵区東静岡1-3-76 JR東静岡駅北口すぐ
静鉄長沼駅から徒歩約4分 駐車場有り(有料)

申込 11/10(木)9:00~静岡市コールセンター(054-200-4894)へ電話申込(申込順)。

受付時間:平日8:00~20:00/土日祝8:00~17:00 ※ただし受付開始日のみ9:00~

壮大な自然の景観が幾世代も続くようにとの願いをこめた冬の夜の宴

「山川草木」とは人間以外のあらゆる自然の総称です。静岡で出会った3名のアーティスト、木下琢朗・石川勝敏・吉見亮による「MI・KA・TA」は、地球をひとつの生命体と捉え、その息吹を美術と映像と音楽・言葉のコラボレーションで表現します。彫刻家の木下は、森をテーマに空間を演出し、石川は美しい自然のなかで躍動する命をプロジェクションマッピングによって表し、SPAC俳優の吉見はパーカッションで更にその世界を拡張します。山川草木が育む生命の、「誕生」「自立」「成長・共生」「創造」と4つのテーマで展開する壮大な景色/響きをお楽しみください。

木下琢朗〈彫刻家〉Takuro Kishita 1977年 静岡県生まれ
東北芸術工科大学で彫刻を学ぶ。大学卒業後、三年間伝統木彫刻を修行。
近年では、その土地にある素材を生かす作品を発表している。

石川勝敏〈映像作家〉Katsutoshi Ishikawa 1979年 静岡県生まれ
2005年からVJ活動を開始。プロジェクションマッピングの制作を軸に、コンピューターを使ったジェネラティブアートの制作、センサーを使用したインタラクティブ作品の制作、画像解析を行い、音楽等と組み合わせた映像の枠を超えた作品作りを行っている。ウェブサイト: <https://hallabo.com/>

吉見亮〈舞台俳優〉Ryo Yoshimi 1977年 鹿児島県生まれ
2003年から静岡県舞台芸術センター(SPAC)に俳優として所属。宮城聰演出作品には欠かせないパーカッションの生演奏において、中心的存在な俳優である。また、『Le Tambour de soie 綾の鼓』(演出・振付・出演:伊藤郁女、笈田ヨシ)において急遽演奏を担当するという大役もこなす。

アーティストトークも開催

12月10日(土)は、会場内に木こりストーブ(スウェーデントーチ)を設置し、その傍らで17:30より木下琢朗アーティストトークを行います。トーク終了後、「山川草木」特別作品を公開します。



<感染症対策> ・体調のすぐれない場合はご来場をお控えください。・来場時は必ずマスクをご着用ください。
・新型コロナウイルスの感染状況により、一部または全部の内容を中止する場合があります。

主催:株式会社VELTEXスポーツエンタープライズ・東静岡アート&スポーツ/ヒロバ実行委員会

企画制作・運営・問合せ:公益財団法人静岡市文化振興財団(054-255-4746(平日8:30~17:30)) <https://event.shizuoka-city.or.jp/art/>



ON
STAGE
SHIZUOKA
まちは劇場